



# Clover通信



2013.9月号

暑さも和らぎ、過ごしやすい季節になってきました。皆様、いかがお過ごしでしょうか。

今回のClover通信は、「**免疫組織化学染色検査**」のご紹介をいたします。



## 「免疫組織化学染色検査」とは？

手術又は生検によって摘出されたがん組織の病理学的組織検査を行い、細胞の表面に発現するMHCクラスIや抗原タンパク質の状態を判別するものです。



## 「免疫組織化学染色検査」はどういった場合に必要？

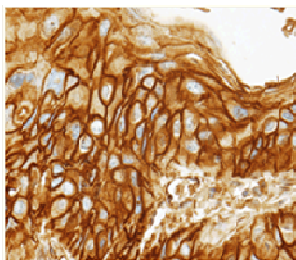
瀬田クリニックグループで行っている樹状細胞ワクチン療法は、がん細胞が持っている目印を標的として、そのがん細胞だけを攻撃する治療法ですが、最近の研究ではその標的となる目印ががん細胞から消失あるいは減少している例があることがわかっています。そのため、免疫組織化学染色検査によって発現の有無を調べ、樹状細胞ワクチン療法が治療法として適切かどうかを予め判断する必要があります。

これに加え、2013年2月号でご紹介した「免疫機能検査(※)」の実施により、現在の免疫機能の状態を把握し、患者さんお一人おひとりに、より最適な治療を選択することができるようになりました。

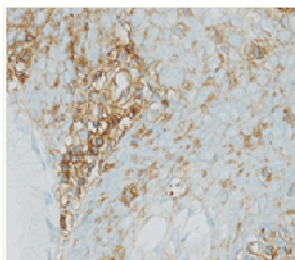
※免疫機能検査は瀬田クリニックグループ（東京、新横浜、大阪、福岡）のみで実施しております。

### ◆免疫組織化学染色検査によるMHCクラスIの発現レベルの違い

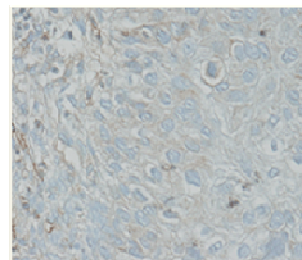
強発現例



発現低下例



発現消失例



特異的

樹状細胞ワクチン療法  
CTL療法

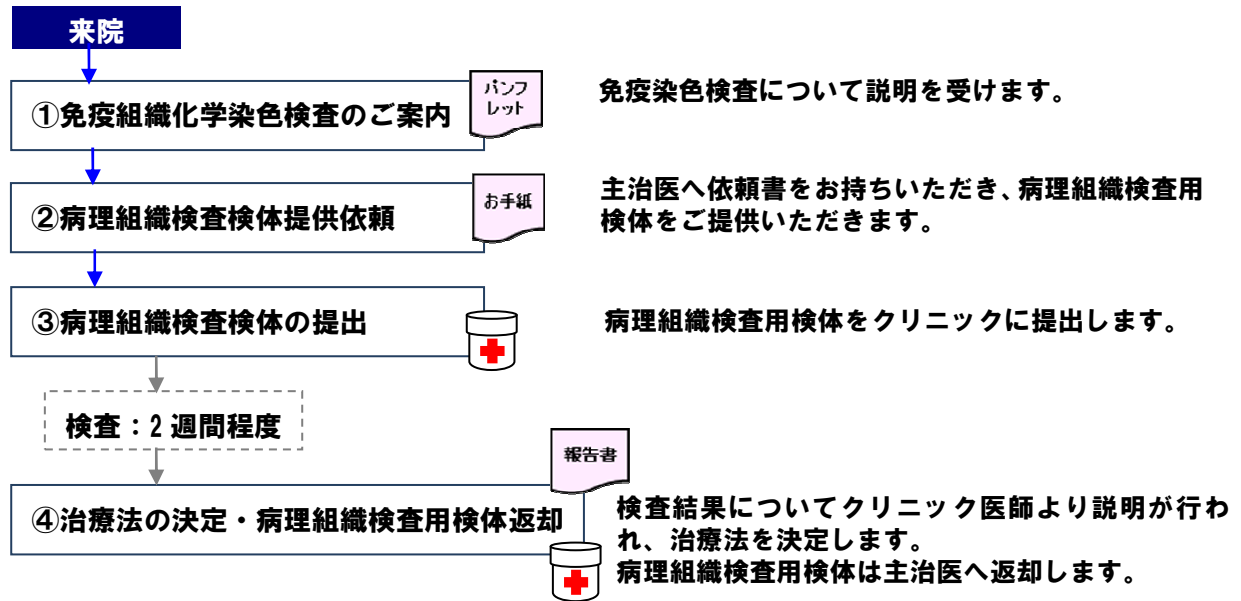
非特異的

NK細胞療法  
アルファ・ベータT細胞療法  
ガンマ・デルタT細胞療法

※MHCクラスI分子の発現量が多い場合にはがん抗原特異的CTLを増殖させる樹状細胞ワクチン療法、一方、消失している場合にはがん抗原非特異的なNK細胞療法やアルファ・ベータT細胞療法、ガンマ・デルタT細胞療法の治療効果が期待できると考えられます。



## 検査実施から治療法決定の流れは？



※検査には、検査材料として、手術又は生検で切除したがん組織のホルマリン固定材料、パラフィンブロック、パラフィン薄切切片のいずれかを必要とします。



## 検査費用は？

1検体 12,390円 ~ 59,692円 (消費税込) です。

※検査項目により金額が変わります。

詳しくは瀬田クリニックグループホームページ (<http://www.j-immunother.com/>) をご覧下さい。

その他ご不明な点がございましたら、瀬田クリニック福岡 (092-281-0511) までお問合せください。



## お知らせ

◆8月23日(金)瀬田クリニック福岡にて、免疫細胞治療説明会を開催いたしました。

暑い中、総勢8名の方にご参加頂き、院長の内藤が免疫細胞治療についてご説明いたしました。説明会では積極的なご質問を沢山頂き、また、説明会後にはクリニックに併設されている細胞培養施設もご見学頂きました。

次回の説明会の日程も決定次第、お知らせいたします。

季節の変わり目で体調を崩しやすいときですが、くれぐれもご自愛ください。

(編集人 猪俣・安田)

